



国立大学法人豊橋技術科学大学

日本テレネット株式会社

Press Release

2015年11月30日

## 「グリーン メンタルヘルスケア」の実証実験を開始

日本テレネット株式会社（注1）では、このたび豊橋技術科学大学（注2）松本 博教授ならびに株式会社プラネット（注3）と共同で、ワーキングスペースにおける植物によるメンタルヘルスケア効果と、知的生産性の向上効果を、精緻な人体反応（生理反応、心理反応）で測定する実証実験を開始することとなりました。

一般に言われてきている「グリーン（植物）が人にもたらす癒し」などのプラス効果が、ワーキングスペースにおいても“業務効率”と“労働者の精神面”の双方に明確に得られることが実証されれば、企業の多くが頭を悩ませる「従業員のメンタルヘルスケア」への有効な解決策のひとつとして提示できることとなります。

また、厚生労働省所管の改正労働安全衛生法に基づき今年12月1日に施行される、従業員数50人以上の全ての事業場の従業員への『ストレスチェック』実施責任やメンタルヘルスケア対策に大きく寄与できるものと期待しています。

### ■実証実験の概要

現代社会は、すでに物質的に裕福な成熟期を迎えています。精神的には貧困になってきていると言われ、精神的裕福さに対する社会の関心が高まりつつあります。

また、内閣府が「メンタル不調等で6か月休職した場合のコストを約422万円」と発表するなど、企業においても従業員のメンタルヘルスケア問題が、経営リスクの増大に繋がるとして、政府が改善の取り組みを推奨しています。

今回、コールセンターに設置した野菜を「見る」「食べる」「育てる」事による、知的生産性向上とメンタルヘルスケア効果を明らかにします。

測定方法として、SAP (Subjective Assessment of workplace Productivity: 知的生産性測定システム) や厚生労働省のストレスチェックシートを組み合わせた心理反応測定を行います。

また、生理反応測定として、アミラーゼや脳波測定などに加え、ウェアラブル型計測器による従業員の心拍数や室内環境（温度、湿度、CO2濃度など）のリアルタイムな測定を行います。

#### 1. 実施期間

##### ①事前検証（2015年10月～2016年3月）

ワーキング（知的生産性／メンタルヘルスケアの可能性と事業方向性）、予備実験。

##### ②第1次 実証実験（2016年4月～2016年9月）

事前検証で見極めた野菜によるオフィス環境の効果測定と商品・サービスモデルの実証。

③第2次 実証実験（2016年10月～2017年3月）

本格実験、商品・サービスの試験販売

2. 実施場所

①事前検証

KICK Smart Life 研究所（注4）

②第1次 実証実験

KICK Smart Life 研究所、日本テレネット本社コールセンター、協力会社と提携実験

③第2次 実証実験

KICK Smart Life 研究所、日本テレネット本社コールセンター、試験販売

■今後の展開・目標

日本テレネット株式会社はオフィス向け「癒し効果」を提供する、新しい商品・サービスの実用化を行い、「EAP（Employee Assistance Program：従業員支援プログラム）・メンタルヘルス」市場や「抗疲労・癒し」市場へのビジネス展開を目指します。また、豊橋技術科学大学は知的生産性向上／メンタルヘルスケア効果の機構解明を検討していきます。

■注釈

注1 日本テレネット株式会社

本社：京都府京都市、代表取締役会長：瀧 栄治郎、代表取締役社長：古川 昌美

注2 国立大学法人 豊橋技術科学大学

住所：愛知県豊橋市、学長：大西 隆

注3 株式会社プラネット

本社：愛知県豊橋市、代表取締役：大林 修一

注4 KICK Smart Life 研究所

住所：京都府木津川市、所長／工学博士：槌屋 治紀

2015年9月4日、京都府のけいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）でのエネルギーや先端産業などの研究拠点としての募集に当社の提案が認可され、京都府山田知事から認定を受けました。

本件に対するお問合せ

日本テレネット株式会社 KICK Smart Life 研究所

担 当：川由 信行

メー ル：kick.info@nippon-tele.net

電話番号：050-3116-6900（エコリンクス内）

- 以上 -